

年末年始の生活困窮者・区内事業者に対する支援強化及び、
国民健康保険料・後期高齢者医療保険料に関する申し入れ
～新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ（第10次）～

2021年12月24日

日本共産党杉並区議団

感染力が高いと言われるオミクロン株の市中感染が国内でも広がりつつあり、第6波への対策強化が急務です。長期化するコロナ禍のもとで失業や収入の減少・廃業が深刻化し、原油高騰などによる物価上昇が区民生活に追い打ちをかけています。年末年始には雇い止めや廃業が多発することが予想され、誰もが安心して年を越せるよう杉並区として命と暮らしを守る取り組みを強化することが求められています。

国民健康保険料の来年度試算や後期高齢者医療保険料の22・23年度見直し算定案では、厳しい値上げが示されました。値上げが実施されれば、コロナ禍で打撃を受けた非正規労働者や自営業者、年金生活者などの加入世帯は、今まで以上に困窮することは明らかであり、値上げは行うべきではありません。

よって、下記の通り強く求めるものです。

記

◆年末年始対策の強化

- ① 年末年始の閉庁期間について、福祉事務所の臨時相談窓口を開設し生活保護申請の相談・受付など必要な対応が行える体制を整えること。
- ② 閉庁期間における緊急の相談受付について、連絡先等をチラシやホームページ、SNS等で広く周知すること。
- ③ 年末年始に失業や収入の減少などによって住居を失った方に対しては、東京都が用意するビジネスホテルなどの一時宿泊所へと確実につなげる。また、区独自のビジネスホテルの借り上げや宿泊可能な区立施設の開放なども検討・実施すること。
- ④ 生活困窮者向けに年末年始に食料を配布する体制を整えること。また、区内での食料配布団体や子ども食堂実施団体への支援を実施・強化すること。

◆生活困窮者・自営業者への支援の強化

- ⑤ 国が予定している「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」については、非正規労働者

などが対象となるよう収入要件を拡大することを国に求めること。

- ⑥ 持続化給付金、家賃支援給付金の第2弾を実施するよう国に求めること。
- ⑦ コロナ禍の長期化により、今後も区内飲食店などで倒産・廃業の多発が懸念される。区として事業者の実態調査を行い、現状を把握し必要な支援を検討・実施すること。

◆感染症対策

- ⑧ 年末年始の発熱外来・PCR検査体制の確立とともに、ホームページやSNSなどで区民へ周知すること。
- ⑨ 保健所体制について、一時的な外部委託による対応だけでなく、恒常的な体制拡充を実施すること。
- ⑩ 感染拡大の第6波に向け、いつでもだれでも何度でも無料で受けられる大規模なPCR検査体制の確立を国・東京都に求めるとともに、杉並区独自で検討・実施すること。
- ⑪ 3回目ワクチン接種については、接種間隔が8カ月より前倒しされることが検討されている。クーポン券の発送や予約・接種が迅速に行えるよう体制を整えること。

◆国民健康保険料・後期高齢者医療保険料について

- ⑫ 来年度の保険料の値上げを行わないよう、予算措置を含めあらゆる手立てを尽くすこと。
- ⑬ 国・東京都に対して来年度の保険料値上げを行わないよう、財政支出の拡充を強く求めること。
- ⑭ 来年度より実施される就学前児童の国保料2分の1減額について、対象拡大と減額割合の引き上げを国・東京都に求めること。また、杉並区としても独自に検討・実施すること。

以上